

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 14 日

事業所名 すまいるきつづまあーる

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			・活動内容に応じ対応行う。	・スペースに合わせて活動内容を工夫している。
	2	職員の配置数は適切である	8			・基準以上の人員配置を行っている。	・利用予定人数を把握し職員配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1		・危険箇所への対応。	・手すり、階段を滑り止めにて対応する。 ・気になる箇所は即対応する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			・事業所内で全員参加のミーティングを行う。	・スケジュールを明確化する、実行したことを確認し、上手く行かなかった点を振り返り改善している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			・アンケート結果を確認し改善点を話し合い業務改善に努める。	・今後も丁寧に対応していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		・HPの公開、保護者へは紙ベースで配布を行う。	・HPに記載していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8			・外部講師を招いてアドバイスを頂いている。	・第三者委員会を設け業務改善に努めていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			・外部講師を招いて研修を行っている。	・全職員参加で研修を行い、資質向上に向け取り組む。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			・モニタリング等で課題ニーズを確認し計画書の作成を行っている。	・本児、保護者のニーズに沿った課題をサービス計画書に落とし支援課題とする。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			・アセスメントシートを活用している。	・アセスメントツールの確認を周知徹底する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			一人ひとりが立案し取り組んでいる。	・色々な活動案を出し合い検討し、活動プログラムに取り入れている。 ・案を出し合う事で意識を高める事が出来る。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			・月ごと曜日ごとのねらいを定めたプログラム。	・「静・動」の活動をバランスよく取り入れている。 ・SSTや個々の課題を取り入れた活動を工夫し行う。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			・活動内容、めあて、SSTを分かりやすく伝え支援している。	・調理実習や屋外活動、遠出をしたり普段できない活動を盛り込んだ充実したスケジュールを計画する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			・児童の特性に合わせて活動内容を工夫している。	・一人ひとりの課題に沿ったプログラムを組み合わせ個別活動、集団活動とバランスの取れた計画書を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			・支援開始前のミーティングで打ち合わせを行いスケジュールの確認を行う。	・支援開始前のミーティングにて活動の内容の確認。 ・一日のスケジュールを確認し、児童人数、送迎等の見落としが無いよう周知する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			・支援終了後、振り返りを行い気付いた点等を共有している。 ・記録、日誌の共有。	・毎日業務終了後、職員間で振り返りを行い、反省点や気づいた点、問題行動等話し合いを行っている。 ・翌日の申し送りで情報共有し、周知していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			・日々の記録、日誌を付け取り組んでいる。	日々の記録、日誌を付け支援の改善に努めて行く。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			・定期的にモニタリングを行い、改善、見直しを行っている。	・課題、ニーズ、中間評価を行い、支援内容を見直しサービス計画書を作成する。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			・基本活動を組み合わせ支援を行っている。	・ガイドライン総則を周知し基本活動を組み合わせ支援していく。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			・児童発達管理責任者が会議に参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			・学校、保護者から情報を頂き、急な変更へも対応を行っている。	・保護者より年間計画、行事予定のコピーを頂き把握する。 ・急な連絡を頂いた時にも即対応出来る様努める。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8			・該当する児童はおりません。	・今後医療ケアが必要な児童に対しては、主治医との連絡体制を整えて行く。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8			・情報共有している。	・支援会議を行い、情報共有、相互理解に努めて行く。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8			・該当する児童はおりませんが必要に応じ対応する。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8				・今後積極的に参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3	5		・コロナ過で中々予定が立てられない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8				・今後積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			・連絡帳への記入、送迎時の申し送り等にて共通理解に努めている。	・更に安心して相談して頂き、共通理解を深められる様務める。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8			・講師を招いて保護者向けのペアトレ、相談会を行っている。	・次年度も講師を招いて保護者向けのペアトレを計画しています。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			・契約時に丁寧に説明を行っている。	・今後も丁寧な説明を心掛けていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			・日頃から相談しやすい環境を調える。	・今後も必要に応じ面談や電話、LINEにて対応し助言等を行い支援していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	5	・コロナ過の為開催できず、保護者へは活動報告書を作成し配布しました。	・コロナ過では有るがソーシャルディスタンスを取るなど、工夫して開催出来る様検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			・契約時に苦情相談窓口、苦情ボックスの説明を行い対応している。	・相談窓口や苦情ボックス等の周知徹底。 ・苦情があった場合には即対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			・HP、笑顔だより連絡帳にて活動の様子、行事予定を発信している。	・更に工夫をし発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	8				・情報は鍵付きロッカーに保管し慎重に取り扱っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			・特性に配慮し、伝達の工夫を行っている。	・日頃の様子を連絡帳や笑顔だよりを通して発信している。 ・送迎時に申し送りを中心とした保護者との連携。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8				・お招きする事は出来なかったが近隣の老人ホームへ、敬老の日のプレゼントを届け交流を深めた。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			・各マニュアルの完備	・会議等にて周知徹底。 ・HPへアップし記載。 ・来所時に丁寧な説明。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			・年2回訓練を行い、連絡帳、HPにて訓練の様子を記載。	・年2回火災訓練・防災訓練を行い(不審者対応)HP、連絡帳にて記載する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			・年2回研修を行っている。	・研修内容を周知し、日々の支援に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			・個別支援計画書に記載し保護者の方々へ丁寧に説明を行っている。	・今後も丁寧な説明を行い、了解を得てサービス計画へ記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8				・保護者から情報を頂き、個別で対応している。 ・アレルギー児童2名
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			・記録を残し職員間で共有している。	・ヒヤリハット事例集の読み合わせをし対策を行い、事故防止に努めている。